

報道機関各位

6月は「環境月間」です!!

令和6年6月27日

北九州市環境局
北九州市教育委員会

「制服・体操服の循環型プロジェクト」が始動！！

～ BRINGとカンコー学生服&全国5自治体と先行スタート！ ～

北九州市は従来から資源循環に着目し、全国に先駆け「エコタウン事業」に取り組んできました。その結果、日本最大級のリサイクル企業の集積地となり、国内外から高く評価されています。

この度、エコタウン企業であり、本市若松区に北九州響灘工場を持つ株式会社 JEPLAN が運営する BRING とカンコー学生服株式会社が協働して、循環型社会を学び実践する「制服・体操服の循環型プロジェクト」を開始します。

本プロジェクトでは、使用後の制服や体操服を回収し、リユース・リサイクルすることによりサーキュラーエコノミーを推進していきます。また、生徒自身が主体的に循環型社会の実現を学ぶ機会となるSDGs教育にもつながる取組です。

北九州市と全国の自治体が6月の「環境月間」にこの取組を発表することによって、広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めていきます。

記

1 制服・体操服の循環型プロジェクト

事業者：株式会社 JEPLAN、カンコー学生服株式会社

参加自治体：北九州市、福岡市、宗像市、沼田市、彦根市

2 プロジェクトの内容

添付プレスリリースをご参照ください。

※詳細内容についてお尋ねの場合は、右記【問合せ先】にお問い合わせください。

【問合せ先】

環境局サーキュラーエコノミー推進課

担当：濱邊（係長）、正野（課長）（TEL 093-582-2630）

教育委員会次世代教育推進課

担当：瀧口、臼木（課長）（TEL 093-582-3447）

【6月は環境月間】BRING™とカンコー学生服、「制服・体操服の循環型プロジェクト」 全国5自治体との連携を開始

—学校を対象に不要になった制服や体操服を回収し、再び服などの資源に循環—

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）が運営する BRING™は、菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾崎 茂、以下「カンコー学生服」）と協働して、制服から制服への資源循環を目指す「制服・体操服の循環型プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）を福岡県福岡市、北九州市、宗像市、群馬県沼田市、滋賀県彦根市と連携することで、学区内の一部公立中学校・高等学校において、BRING の衣類回収のプラットフォームを通じて、不要な制服や体操服を回収する活動を開始します。



6月の「環境月間」は、環境問題の重要性を再認識し、環境保全に向けた具体的な行動を促すために設けられています。本プロジェクトは、未来を担う子どもたちと共に循環型社会の実現に向けて「循環型社会を学校で学び実践する」をモットーに掲げ、制服・体操服を捨てることなく循環させるために、学校での回収の取り組みから開始しています。将来的には、回収した制服・体操服を JEPLAN の独自技術を用いて服の原料にリサイクルをし、その原料を活用して制服や体操服などの製品を開発することを目指しています。環境問題への取り組みは、一人ひとりの小さな行動の積み重ねから始まります。本プロジェクトを6月の環境月間に発表することで、子どもたちの環境問題への関心を深め、持続可能な社会の実現に向けての行動の機会を提供します。

制服から制服のリサイクルを成功させるためには、生徒や保護者、学校、自治体、リサイクル業者など、関係者全体の連携が不可欠です。それぞれの立場から課題解決に取り組み、持続可能な制服の資源循環の実現を目指していくことが重要です。既に愛知県や大阪府の中学校・高等学校との取り組みがスタートしていましたが、この度、福岡市、北九州市、宗像市、沼田市、彦根市と連携することが決定しました。学区内の学校の一部モデル校にオリジナル回収ボックスを設置して制服や体操服の回収をスタートします。循環型社会実現のために、子どもたちが身近な教材である制服・体操服を通じて主体的に考え学び、実践できる機会を提供することで、将来に向けた行動の習慣化や子どもたちを起点とした家庭内への関心喚起が期待されます。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーの牽引に努めてまいります。

■福岡市、北九州市、宗像市、沼田市、彦根市との連携内容

福岡市、北九州市、宗像市、沼田市、彦根市で設置の同意を得られた中学校や高校に、オリジナル回収ボックスを設置し、制服・体操服の回収を実施。

■「制服・体操服の循環型プロジェクト」概要 (<https://kankogakuseifuku.co.jp/company/bring>)

“思い出”が詰まった「制服」や「体操服」を「捨てる」のではなく、リユース・リサイクルに向けて、未来を担う子どもたちとサーキュラーエコノミーを目指す取り組みです。制服・体操服を捨てることなく循環していくための回収からスタートし、将来的には、再生原料「BRING Material™」を使用した何度でも循環する制服や体操服の開発を目指しています。未来を担う子どもたちに向けた衣類に係る資源循環の授業として、セミナーや講義を通じて「回収した制服をどのように循環させるのか」等を伝え、子どもたちが主体的に考える学びの機会提供することを目的としています。



■ BRING™ (<https://bring.org/>)

「服から服をつくる™」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド BRING は、様々なアパレルブランドなどと協力をして使われなくなった服の回収をおこなっています。BRING が回収した服は、リユースまたはリサイクルされます。そのうちポリエステル繊維 100%の服については JEPLAN 独自の PET ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」により 100%繊維由来の再生ポリエステル「BRING Material™」にリサイクルされ、新たな服等の原料や服として生まれ変わります。



本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

JEPLAN
We circulate our world

■**管公学生服株式会社** (<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/>)

1854年（安政元年）創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。

■**株式会社 JEPLAN** (<https://www.jeplan.co.jp/>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007年1月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、広くサプライチェーンに携わりながら、独自のPET ケミカルリサイクル技術を用いたものづくり、事業開発や技術ライセンスの展開を推進することで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減に寄与しています。

独自のケミカルリサイクル技術と資源循環の仕組みづくりにより、不要な衣類を回収し「服から服をつくる」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING」の運営や、自治体や企業と連携をしてペットボトルを何度でも繰り返しリサイクルを実現する資源循環の事業に取り組んでいます。資源循環を社会に実装するため、PET ケミカルリサイクルのプラントを北九州響灘と川崎（グループ会社：ペトリファインテクノロジー株式会社）の2拠点で運営しています。

News Release



カンコー×BRING™の「制服・体操服の循環型プロジェクト」が全国5自治体との連携を発表
～不要になった制服や体操服を学校で回収し、再び服などの資源に循環～

子どもたちと学校を取り巻くさまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニー菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾崎 茂 以下：カンコー学生服）は、「BRING™」を運営する株式会社JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）と協働する、循環型社会を学び実践する「制服・体操服の循環型プロジェクト」において、福岡県福岡市、北九州市、宗像市、群馬県沼田市、滋賀県彦根市との連携を発表いたします。学区内の一部の公立中学校・高等学校で、BRING™の衣類回収プラットフォームを通じて不要になった制服や体操服の回収を開始し、リサイクルにつなげ、資源の循環を目指します。



6月環境月間

制服・体操服の循環型プロジェクト 自治体との連携開始

 | 


福岡市
FUKUOKA CITY


北九州市
CITY OF KITAKYUSHU


宗像市


沼田市
NUMATA CITY
森林文化都市


彦根市
Hikone City

カンコー学生服は、学校制服・体操服に代表される「ものづくり」と、子どもたちが未来を生きるために必要な力を育む「ひとづくり」を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。特に近年は、リデュースやリユースなどのトライアルも行っておりますが、最終的には多くの制服・体操服が廃棄されることに課題を感じておりました。そこで2023年11月、資源循環の技術や仕組みを持つJEPLANが運営する「服から服をつくる®」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING™」と協働して「制服・体操服の循環型プロジェクト」を開始し、環境配慮への取り組みを深めています。制服・体操服を捨てることなく循環していくための回収からスタートし、循環型商品の開発も進めています。

既に愛知県や大阪府の中学校・高等学校との取り組みがスタートしておりましたが、今回、福岡市、北九州市、宗像市、沼田市、彦根市と連携し、学区内の学校の一部モデル校にオリジナル回収ボックスを設置して制服や体操服の回収をスタートします。

これらの取り組みから、より多くの子どもたちに循環型社会の大切さや素晴らしさを実体験を交えながら感じてもらえればと考えています。カンコー学生服は、今後も地球環境やSDGs達成に寄与すると共に、子どもたちの夢と学びを応援してまいります。

本件に関するお問い合わせ先 菅公学生服株式会社 広報・PR担当

谷岡 美樹(たにおか みき) TEL:080-1914-5219 E-mail:miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp

柄川 麻紀(からかわ まき) TEL:080-3587-6063 E-mail:maki.karakawa@kanko-gakuseifuku.co.jp

TEL:086-898-2520 FAX:086-898-2510

■福岡市、北九州市、宗像市、沼田市、彦根市との連携内容

福岡市、北九州市、宗像市、沼田市、彦根市で設置の同意を得られた中学校や高校に、オリジナル回収ボックスを設置し、制服、体操服の回収を実施。

■制服・体操服の循環型プロジェクト <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/company/bring>

カンコー学生服×BRING™が連携し、“思い出”が詰まった「制服」や「体操服」を「捨てる」のではなくリユース・リサイクルする。未来を担う子どもたちと、サーキュラーエコノミーを目指す取り組みです。制服・体操服を捨てることなく循環していくための回収からスタートし、将来的には、再生原料「BRING Material™」を使用した何度でも循環する制服や体操服の開発を目指しています。未来を担う子どもたちに向けた衣類に係る資源循環の授業として、セミナーや講義を通じて「回収した制服をどのように循環させるのか」等を伝え、子どもたちが主体的に考える学びの機会提供することを目的としています。



■ BRING™について <https://bring.org/>

「服から服をつくる®」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING」(運営:株式会社JEPLAN)は、様々なアパレルブランドと協力して使われなくなった服の回収をおこなっています。BRINGが回収した服は、リユースまたは素材ごとにリサイクルされます。そのうちポリエステル繊維100%の服についてはJEPLAN独自のPETケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」により100%繊維由来の再生ポリエステル「BRING Material™」にリサイクルされ、新たな服等の原料や服として生まれ変わります。

■株式会社JEPLAN <https://www.jeplan.co.jp/>

「あらゆるものを循環させる」を理念に掲げ、広くサプライチェーンに携わりながら、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いたものづくり、事業開発や技術ライセンスの展開を推進することで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減に寄与しています。

独自のケミカルリサイクル技術と資源循環の仕組みづくりにより、不要な衣類を回収し「服から服をつくる®」サーキュラーエコノミーを社会に実装するブランド「BRING」の運営や、自治体や企業と連携をしてペットボトルを何度でも繰り返しリサイクルを実現する資源循環の事業に取り組んでいます。

資源循環を社会に実装するため、PETケミカルリサイクルのプラントを北九州響灘と川崎(グループ会社:ペトリファインテクノロジー株式会社)の2拠点で運営しています。

所在地:神奈川県川崎市川崎区扇町12-2

代表者:代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立:2007年1月

主な事業内容:PET ケミカルリサイクル技術関連事業(対象:PET ボトル・ポリエステル)など

■菅公学生服株式会社 <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/>

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。

所在地:岡山県岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5階

代表者:尾崎 茂

創業:1854年(設立:1929年)

本件に関するお問い合わせ先 菅公学生服株式会社 広報・PR担当

谷岡 美樹(たにおか みき) TEL:080-1914-5219 E-mail:miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp

柄川 麻紀(からかわ まき) TEL:080-3587-6063 E-mail:maki.karakawa@kanko-gakuseifuku.co.jp

TEL:086-898-2520 FAX:086-898-2510